



パトロールニュース

日本スキーパトロール協議会情報誌



P1-3
第 51 回
JSPA 総会報告

第 84 号



P4
第 52 回 JSPA
広島県総会 告知



P5
2022 年度事業報告
2023 年度事業計画

P6
2022 年度決算報告
2023 年度予算

P7-10
2023 年度
全日本スキー連盟
全国安全対策委員長会議



P11
事故報告とスキーパト
ロールへのお願い



P12
～JSPA の皆さまへ～
募集のお知らせ



P13-14
我らの仲間



P15
事務局より
・新終身会員の紹介
・寄付者受領名簿・ほか

発行 日本スキーパトロール協議会
発行日 2022年12月15日
発行責任者 遠藤 正
総務担当 〒063-0001 北海道札幌市西区山の手1条6丁目3-6
富樫 美昭 TEL080-2014-3339 FAX011-621-1328
広報誌作成 石川 由紀子 TEL090-2479-1812
ホームページ <https://jspa-net.jp/> Eメール info_ski@jspa-net.jp

日本スキーパトロール協議会

ホームページは、
右のQRコードから
またはJSPAで検索



JSPA

検索

第 51 回 JSPA 総会報告

第 51 回 JSPA 総会は、2022 年 7 月 9 日から 10 日の 2 日間、青森県青森市内の浅虫温泉にある「南部屋海扇閣」において総勢約 90 名の参加者で行われました。対面での総会は、実に 3 年ぶりの開催となりました。受付時に、検温、消毒はもとより参加者全員の抗原・抗体検査を行い、新型コロナウイルス対策を万全にして実施されました。

初日の総会は、星 伸也さん（栃木県 32 期）の法螺貝の吹奏を合図に始まり、2022 年度事業報告・同決算報告及び監査報告と 2023 年度事業計画・同予算案が審議されました。また、安田耕寿さんの後任として遠藤秀明さん（福島県 36 期）の監事就任が全会一致で承認となりました。

特別講演は、青森県立中央病院救急救命センター長の石澤 義也氏による「病院前診療とスキーパトロール」の演題で行われ、ドクターヘリが導入されたきっかけなど、大変参考になる内容で、興味深く聞くことができました。

夜の懇親会では、全国各地から持ち寄られた地酒と地元青森県の味を堪能し、パトロール談義に花を咲かせて会員相互の親睦を深めました。最後に、今回の開催地青森県から次回開催地の広島県へと JSPA 旗がバトンタッチされ無事閉会となりました。

2 日目は、青森市内にある世界文化遺産登録の「三内丸山遺跡」観光を満喫しました。

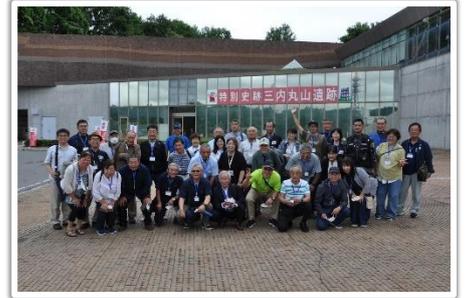




総会に先立ち、栃木県 32 期の星伸也さん(僧名「嶽良」真言宗智山派権大僧都)が、訃報の先輩方の冥福を祈り、「法螺」吹奏し黙禱が挙行されました。

星さんからの寄稿文を、ページの都合上、一部要約して次ページでお伝えします。





青森県連に感謝！！感謝！！感謝！！～第51回総会に参加して～

栃木32期 星 伸也

今回の総会において青森県連より株式会社松緑酒造の日本酒「六根？」が献上され、私共は般若湯と称して飲み、身も心も酔いしてしまいました。総会に先立ち、先輩方10名のご冥福をお祈り「法螺」吹奏と「黙禱」が挙行されました。私が「法螺」を吹奏させて頂いた御縁もあり、此の「六根」と「法螺」について少しお話させてください。



山伏と云われる方々が、山に登る際お唱えするのがこの「六根」で、「六根清浄」と連呼しながら登拝します。六根とは眼・耳・鼻・舌・身・意識の六種類の感覚器官です。我々人間は、この六個の感覚器官で物事を判断しますが、日常のなかで段々に、判断が我がものとなり、他人の意見を聞き入れないなど、この感覚器官に『穢れ』がでてきます。この穢れを祓い新しい自分が再生できるよう願うため、仏や神が住んでいるという山へ、法螺を吹き「六根清浄」と連呼しながら山頂を目指しました。ちなみにこの「六根清浄」は人が唱えるのであるから、段々疲れてくると「六根清浄」と連呼出来なくなり「ドッコイショ」「ドッコイショ」となりました。一晩中踊り続け祖先の霊を祈る「盆踊り」の掛け声も、「ドッコイショ」「ドッコイショ」、神事をささげる大相撲は、「ドスコイ」「ドスコイ」となったといわれています。



この続きは、次回総会の広島安芸で般若湯を飲みながら・・・皆さまに、お会いできるのを楽しみにしております。

第 52 回 JSPA 広島県総会 告知

今般の新型コロナウイルス感染症に感染された皆様および関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

JSPA 会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？

さて「第 52 回 JSPA 総会 IN 広島県」の案ができましたのでお知らせいたします。中国地方での開催は 2013 年「鳥取県皆生グランドホテル天水」以来 10 年ぶりとなります。

会員の方はもちろん御家族・御友達もお誘いのうえ御参加いただき、総会でお会いできることを楽しみにしております。

開催日：2023年8月26日(土)～27日(日)

場 所： **安芸グランドホテル**

広島県廿日市市宮島口西1丁目1-17

観 光：大和ミュージアム、てつのくじら館を予定

※詳細は次回、パトロールニュース 85 号にてお知らせいたします。
御参加をお待ちしております！



ホテルの情報はこちら



楽しみいっぱい！広島へきんさい



大和ミュージアム



てつのくじら館



厳島神社大鳥居

2022 年度事業報告・2023 年度事業計画

【2022 年度事業報告】

事業行事名	期日	場所・内容
総会	2021/7	書面
第 1 回理事会	2021/7/31	オンライン
地区幹事会	2021/11	書面
SAJ 全国安全対策委員長会議	2021/11/6	オンライン
会報発行	2021/12/10	パトロールニュース 82 号発行
SAJ スキーパトロール検定会	2022/2/25-27 2022/2/25-27	第 1 会場：北海道・ルスツリゾート 第 2 会場：宮城県・オニコウベスキー場
SAJ スキーパトロール研修会	2022/2/26-27 2022/2/19-20	東日本会場：宮城県・オニコウベスキー場（中止） 西日本会場：岐阜県・ほおのき平スキー場（中止）
会報発行	2022/5/15	パトロールニュース 83 号発行
常任理事会	2022/6/4	オンライン会議
業務・会計監査	2022/6/14	郵送書面にて監査
第 2 回理事会	2022/7/9	青森県・青森市 南部屋 海扇閣にて開催
支部活動	年 間	各支部
物品販売	年 間	物販内容の充実・サービスの拡充
ホームページ	年 間	サイトの充実

【2023 年度事業計画】

事業行事名	期日	場所・内容
地区幹事会	2022/7/9	青森県・青森市 南部屋 海扇閣
総会	2022/7/9	青森県・青森市 南部屋 海扇閣
第 1 回理事会	2022/7/9	青森県・青森市 南部屋 海扇閣
SAJ 全国安全対策委員長会議	2022/11/5	集合またはオンライン会議
会報発行	2022/12/15	パトロールニュース 84 号発行
SAJ スキーパトロール検定会	2023/2/24-26 2023/2/23-25	第 1 会場：北海道・ルスツリゾート 第 2 会場：栃木県・ハンターマウンテンスキー場 ※2023 年は会場により日程が異なります。
SAJ スキーパトロール総会・研修会	2023/2/18-19 2023/3/18-19	西日本会場（研修会）：岐阜県・ほおのき平スキー場 東日本会場（総会・研修会）：秋田県・たざわ湖スキー場
会報発行	2023/6/30	パトロールニュース 85 号発行
常任理事会	2023/7/14	宮城県・仙台市丘のホテル
業務・会計監査	2023/7/15	宮城県・仙台市丘のホテル
第 2 回理事会	2023/8/26	広島県・宮島口 安芸グランドホテル予定
支部活動	年 間	各支部
物品販売	年 間	物販内容の充実・サービスの拡充
ホームページ	年 間	サイトの充実

2022 年度決算報告・2023 年度予算

決算期間は 2021 年 4 月 1 日～2022 年 4 月 30 日、予算期間は 2022 年 5 月 1 日～2023 年 6 月 30 日

【収入の部】

科目	2022 年度決算	2023 年度予算	適用
入会金	50,000	50,000	新規、再入会
年会費	631,000	600,000	年会費、終身会費
物品販売収入	120,900	100,000	ネームプレート、ステッカー、バッジ、名刺
雑収入	163,537	648	
特別積立金より	0	0	
繰越金	956,470	1,088,352	前年度より繰越
合計	1,921,907	1,839,000	

【支出の部】

科目	2022 年度決算	2023 年度予算	適用
事務局費	131,076	150,000	事務消耗品、インターネット経費等
通信連絡費	215,633	450,000	切手、葉書、郵便料金
会議費	0	450,000	理事会、各種会議
交通費	67,921	100,000	各種行事
印刷費	98,850	150,000	会報、封筒
物品作製費	20,075	100,000	オフィシャル商品
協賛金	0	0	
積立金	300,000	350,000	特別積立金会計へ
予備費	0	89,000	
小計	833,555	1,839,000	
次期繰越金	1,088,352	0	次年度へ繰越
合計	1,921,907	1,839,000	

特別積立金会計

【収入の部】

科目	2022 年度決算	2023 年度予算	適用
繰越金	800,000	1,100,000	前年度より繰越（定額）
積立金	300,000	350,000	一般会計から
雑収入	0	0	
合計	1,100,000	1,450,000	

【支出の部】

科目	2022 年度決算	2023 年度予算	適用
一般会計へ	0	0	
次期繰越金	1,100,000	1,450,000	次年度へ繰越
合計	1,100,000	1,450,000	

次期繰越金 1,100,000 円 内訳（郵便定額貯金 1,100,000 円）

2023 年度 全日本スキー連盟全国安全対策委員長会議

(公財) 全日本スキー連盟 全国安全対策委員長会議が、
2022 年 11 月 5 日 (土) 13:00 からオンライン (Zoom) で開催
されました。<http://snowsafety.info/>をご覧ください。➡

全日本スキー連盟教育本部安全対策部担当理事、同安全対策部長、同安全対策専門委員長・副委員長・委員、各加盟団体安全対策委員長、およびオブザーバーとして JSPA 遠藤 正 会長の総勢 34 人が出席し、審議・報告が行われました。加盟団体活動報告を抜粋してお知らせします。



北海道 後藤博昭

養成講習会を 2 回開催。1 回目は基本的なこと、2 回目はルスツの検定斜面を使い、室内含め全員合格を目指して実施。研修は参加 33 人。検定会ルスツ会場合格 13 人。

スキー技術選、マスターズ技術選、ジュニア技術選、SAJ ジュニア技術選の 4 大会に安全対策部が対応し、ケガ対応、コース整備を行う。医師、看護師 2 名と合わせて 8 名体制で、アキヤポート 4 艇を配置して活動している。今年度も同様に活動する。

青森県 守屋良紀

養成講習会を 2 回実施。2 回目は COVID-19 の影響で予定会場が閉鎖され、会場を変更して実施した。受検者はすべて合格した。

春山訓練は COVID-19 蔓延により中止した。今シーズンは 2023/4/8~9 で予定しているので、参加を求める。

宮城県 三神良太

オニコウベ会場での検定会が地元開催ということもあり、10 人が受検することに伴い、養成講習会を 2 回行った。

他に生涯スキーリーダー講習・研修会に講師を派遣した。

福島県 遠藤秀明

養成講習会を前期、後期の 2 回に分けて実施した。

研修会はオニコウベで開催されるはずだった研修会に参加させることとし、福島県主管の研修会は開催しなかった。

茨城県 高瀬勝則

スキーパトロール研修会を指導者研修会と共に行い、指導者の研修にも「安全」を取り入れてもらう試みを行った。

シーズン中の県連の各行事に安全対策部からパトロール員を派遣し、事業の中で COVID-19 感染予防を含めて、常に安全を見守る活動を行った。

栃木県 新井和夫

例年どおりの事業を計画した。

研修会だけは蔓延防止に係る条例が発出されたので中止した。

群馬県
星野登志夫

養成講習会、研修会、隊長会議を片品スキー場で開催する予定だったが、COVID-19の影響で中止した。受検者は特例で養成講習会修了扱いとして2人受検し、1人が合格した。

埼玉県
佐藤俊寿

養成講習会、パトロール有資格者講習会を実施した。養成講習会は、理論と実技2回を予定したが、コロナ禍により2回目の実技が中止となり、受検者は未修了での受検となった。1名が受検したが不合格であった。

東京都
酒井潤

養成講習会は神奈川県と合同で開催できたが、研修会は神奈川県主導で予定したものの、COVID-19蔓延の影響で中止せざるを得なかった。

競技本部との連携により、各種競技会に部員を派遣し、安全対策の充実を図っている。

神奈川県
上杉一哲

昨年からの試みとして、日赤救急法講習を予定し、救急員養成講習は実施できなかったものの、基礎講習を1月に2日間の日程で開催し、8人が受講し、無事修了した。

10月には救急員養成講習を行い、28人が受講し、全員が合格し、認定証を手にした。

1月終わりに千葉県と合同で、北海道で実施しているSAJ技術選の予選会に、安対委員を1名配置し安全対策で寄与した。また、安全対策委員会の技術研鑽として、昨シーズンから、シーズン前後にパトロール技術向上のための練習会を開催している。おかげで委員が意識を高く持て、いろいろな行事を運営できることにつながっている。

山梨県
林譲

養成講習会は受講者なくキャンセルになった。

研修会は受講者が3人だったので、スキー場の理解も得られ、開催した。

長野県
新村昌宏

救急員の養成講習は、ここ数年開催できていない。長野日赤も動いていないので、今シーズンも基礎講習のみの見込み。養成講習会は申込4人、受講2人、合格2人であった。

研修会はSAJ、県パトロール合同で開催したが、天候の急変があったこと、COVID-19蔓延の影響があったことから、早めに終了した。

新潟県
川内慎吾

準指導員、パトロールの養成講習会に参加した。準指導員養成講習受講者には救急法及びボート搬送の講習を行った。パトロール養成講習会を受講するも、COVID-19蔓延の影響で、検定会には行かれない者がいた。

富山県
奥田純

シーズン初めにパトロール隊情報交換会、県認定パトロール資格取得者向けの救急法講習会及び認定パトロール講習会を行った。

県認定パトロールの研修会・検定会及び傷害調査の3事業を例年どおり行った。

福井県
前田 初志

指導者受検者養成講習会の理論を担当した。受講者は4人だった。
シーズン初めに公認パトロール受検希望者が出てきた。福井県のルールとして県公認パトロール資格を取ってからSAJ公認資格を取ることになっているので、急遽県認定パトロール講習会、続けて受検者準備講習会を計6日間実施し、1人合格した。

静岡県
山田 俊明

例年のように、静岡県スキー技術選手権大会において、大会運営及び安全対策活動を兼任する形で、競技のスタート審判、スタート地点の安全確保、並びに競技中の不測の事態に備える活動を行った。

愛知県
福岡 優子

受検希望者が1人いたが、受検の概要説明の過程で「思いが違う」とのことで受検を辞退してしまっただ。そこで興味のある人を募り、説明会・体験会を開催し4人参加した。

今年度から県連の正式な行事として、説明会及び練習会を立ち上げた。甘くはないがやりがいはあることを伝えながら実施する。受講者は愛知にこだわらず、特に雪なし県で練習会場に困る受検者があれば参加できるようにした。愛知県連HP掲載の要綱に従って申し込める。練習会場に困っている県連の受検者に声をかけてほしい。

安全対策委員で話し合い、スキー場のことを知らない、ライセンスだけを持っている人がいるので、スキー場のバックヤード見学を2023年3月に企画した。一般を含む中学生以上で、スキーで斜面を降りてこられる人対象。愛知県連HPから申し込める。

※詳しくは、12ページをご覧ください。

岐阜県
内方 陽一

石川県セイモアスキー場で開催された、東海北陸ブロックの養成講習会に技術員2名を派遣した。

パトロール隊長会議、県認定パトロール研修会は中止した。

県認定パトロール養成講習検定会は11人受講し全員合格した。

滋賀県
長尾 卓哉

県認定パトロール養成講習会座学、実技を各会場で実施した。天気が安定せず、強風によるロープウェイ、ゴンドラの運転中止により、期日を変更して開催した。スタッフは集まったものの、年に数回しか開催しないので、スタッフやスキー場との話し合いができていなかったが、何とか開催できた。この課題を踏まえて、話し合いを進める。

例年受検者数はひと桁台だが、合格者が各スキー場のパトロールに戻り、若い世代に話をしてもらうことで、地味ではあるが、部員の数も増えている。

京都府
小堀 智由

指導者養成講習会を1回開催し、受講者11人だった。

例年どおり養成講習会に追加して、京都府連主催で2年に1回研修会を実施している。

大阪府
香谷 義久

雪なし県でもあり、安全対策の活動は行っていない。

パトロール受検者がある場合は近畿ブロック教育部会のお世話になっている。

兵庫
米田 幸雄

3月に兵庫県連としてスノーフェスタと称して、指導者研修会、パトロール研修会、技術選、クラブ対抗競技を行うイベントがあり、パトロール研修会もそこで実施した。

県内スキー場で傷害調査を実施し、『スキー情報』にグラフ化してわかりやすく掲載し、県内の関係者に周知している。

愛媛
渡部 洋人

県認定パトロール研修会を県内に3箇所あるスキー場のそれぞれで開催した。内容はロープワーク、三角巾の確認、スキー操作、アキヤボートを使った雪上での手順等の確認であった。

広島
平川 朝水

県認定パトロールに関して研修会、養成講習会、検定会の3行事を行っている。

研修会の参加者は毎年少なく、申込2人、参加1人でマンツーマンになり、濃い内容で行うことができた。

養成講習会及び検定会は蔓延防止措置発出により、中止した。

鳥取
小豆澤 幸司

県連主催の研修会はCOVID-19蔓延の影響で中止した。

救急法については、毎年日赤の基礎講習を中心に行うが、鳥取日赤が動いていないので、今年についてはJPTECのファーストレスポンドラー講習を予定。



JPTECについてはこちらから➡

JSPA
遠藤 正

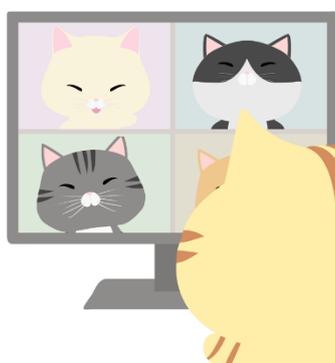
今年の第51回総会は、青森県浅虫温泉海扇閣で7/9~10に開催した。対面での開催は、北海道以来3年ぶり。全国から約90人が参加し、翌日の三内丸山遺跡観光も天気に恵まれ、無事終了した。上杉SAJ安全対策委員長にも参加いただき、御礼を申しあげる。

毎年検定会では、JSPAの担当者がSAJの配慮により、合格者への加入の呼びかけの機会をいただき、昨年度は合格者50人のうち31人の入会を得ることができ、感謝する。

来年の総会は広島県 安芸グランドホテルで8月に開催※予定。まだCOVID-19は収束していないが、全国的にも人が動いてきているので、安全に考慮しながら、ぜひ多くの人に参加してほしい。

※詳しくは、4ページをご覧ください。

来年は、
広島じゃけん!
来てちょ~だい
ニャ🐱



スキーパトロールが困った事故事例

会員の小林英記さん（保険会社勤務）から、事故事例報告とスキーパトロールへの情報提供がありました。衝突事故で加害者に嘘の氏名・住所・電話番号を申告され、後日連絡したところ氏名・住所・電話番号は実在するが加害者本人ではなかったことが分かり、被害者や関係者が大変困る事例があります。

加害者の本人確認は聞き取ったことをメモするだけでなく、

- ① 免許証・マイナンバーカード等、顔写真のあるもので本人確認をしてください。
- ② 本人確認できるものを持っていないときは、顔写真を携帯・スマホ等で撮ることにより虚偽申告をしたときは、警察に探してもらうことができます。



事例

以下、事例と事故報告書を掲載します。

——スキーヤーとボーダー衝突事故によるボーダーの虚偽申告——

2018年にスキーヤーの左後側面にボーダーが衝突した。スキーヤーは意識不明になり、2022年現在、後遺症に悩んでいる。ボーダーの虚偽申告によりボーダーの連絡先不明。

事故報告

2020年 小学校の団体講習中、担当講師（スキー学校非常勤教師）の後をブルークボーゲンでトレイン滑走中、上方向より滑走してきたスノーボーダーが停止することが出来ず転倒してそのままの状態です生徒一人に追突し生徒が転倒した。転倒した生徒に担当講師がケガの有無と痛みの状況を聞いたところ「大丈夫」との返答があったので、その後、昼食までの午前レッスンと午後のレッスンを行った。追突の際に担当講師がボーダー本人から氏名・住所・電話番号（固定電話）を聞き取り、メモを残し、そのメモを小学校引率教師に渡した。

後日、小学校から団体講習を請け負ったスキー事業者に連絡があり、小学校がメモをもとに連絡をしたところ、その連絡先には当該ボーダーに該当する者が存在せず、虚偽の情報を伝えられたことが分かった。保護者と小学校とのやり取りの中で、生徒の保護者は警察にボーダーの特定を依頼し、警察が調べを行ったが、該当する者を特定することはできなかったということである。その際、担当講師も警察には状況の説明をおこなっている。

現時点において、生徒の保護者様からスキー学校に対して損害賠償の請求はないものの、今後の進展に備え、事故報告する。

なお、生徒の保護者との直接のやり取りは小学校が行っているため、スキー学校として生徒の住所等の情報を確認しがたい状況にあり、現在スキー学校として持ち得ている情報の中で事故報告書をまとめた。

～JSPA の皆さまへ～ 募集のお知らせ

愛知県スキー連盟 安全対策部で行っている取組をご紹介します。広く参加者を募集されていますので、ご興味のある方は、JSPA 理事 愛知県の福岡さんにご連絡ください。

バックヤードツアー 知って納得！ウィンターリゾートの裏側見学会

～楽しさと安全を作るスキーパトロール活動の実態～

- 期 日 令和5年3月18日（土）夕方～19日（日）
- 主 催 （公社）愛知県スキー連盟 安全対策部
- 会 場 長野県エイブル白馬五竜スキー場
- 対 象 中学生以上でスキー・スノーボードが中級以上の滑走レベルの方
(中、急斜面をひとりで滑走できること)



愛知県連会員以外でも参加できます。

- 内 容 **現地パトロールによる解説付きゲレンデツアー**
「スキー場に設置されているロープや規制看板の意味は？
雪崩防止の秘策は？ もしもリフトが止まったら？」
さまざまな疑問に対し、スキー場で行われている安全対策について、
あなたの知らないスキー場の裏側を隠れたヒーローたちが解説します。



- 1 日目 現地スキーパトロールによる安全対策について講義
講義の後に、パトロール隊と一緒に夕食会も開催します！（希望者）
何でも気軽に質問できます。そしてきちんとお答えします。
スキー場で働くには？
パトロール検定ってどんな資格？
♪楽しいひとときを過ごしましょう！（夕食代は別途集金）



- 2 日目 解説つきスキー場の裏側見学ツアー



- 参加費 3500円
- 現地受付 エイブル白馬五竜スキー場 エスカルプラザ2F 愛知県スキー連盟
- 申込方法 愛知県スキー連盟 HP に掲載された申込用紙に必要事項を記入し、愛知県スキー連盟 安全対策部までメールまたは郵便で提出すること。
〒464-0821 名古屋市千種区末盛通5-13-3 大雄ビル2F
E-mail info@ski-aichi.jp
- 申込期日 令和5年3月3日（金）
- その他 白馬五竜47観光協会に加盟している宿泊施設をご利用の場合は、リフト券の割引が受けられます。（宿舍の予約の際にお問い合わせください）
夕食代金は、4000円程度。当日徴収。
なお当日キャンセルは、代金を頂きます。

■ 我らの仲間

私の所属は、

「埼玉県スキー連盟 安全対策委員会」です！

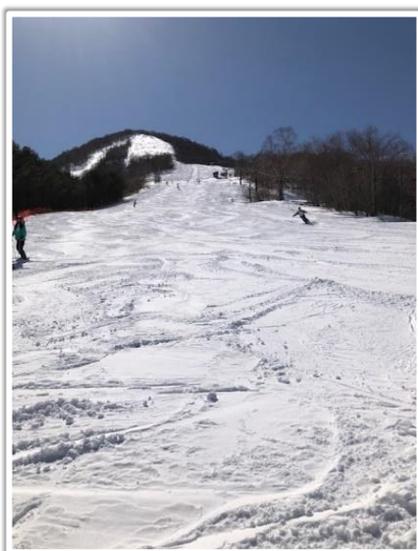
副委員長
山原 弥 (第49期)



2022 年度 公認スキー指導員検定会を振り返って

2022年2月25日(金)から27日(日)に、群馬県の鹿沢スノーエリアにて公認スキー指導員検定会(第3会場)が開催されました。今回の検定会は、埼玉県主管の初めての検定会であり、かつコロナ渦の中での検定会でもあることから、事故なく無事に検定会を行うために、いつも以上に協議を重ね、念入りに準備を進め、検定会に挑みました。

本部宿舎に役員が集合したらまずは、新型コロナウイルスの抗原検査を役員全員が行い、クラスター感染の防止に努めました。(検査は陰性。ホッとしました。)



1日目の午前中は理論検定であり、パトロールは早朝から駐車場係として、路面の凍結に注意しながら受検生及びサポートの車の安全管理を行いました。午後からは、実技検定。受検生も理論検定のストレス発散か、水を得た魚のごとくパツと散っていきました。(事故だけは気を付けてな・・・)

1日目の午後と2日目で実技検定、日ごろの行いが良いのか、晴天であり、バーンコンディションも良く、その中、さすが指導者、みんな上手に演技していました。(全員が合格すれば良いんだけどな・・・)

【日 程】

2月24日(木)

13:00 役員集合

2月25日(金)

8:00 受検者受付

10:00 理論検定

13:00 実技検定

2月26日(土)

10:00 実技検定

2月27日(日)

9:00 合格発表

12:00 役員解散



パトロール担当の面々

全体を通して、受検生やサポートの皆さまが、パトロールに協力して下さったことで、大きな事故もなく無事に検定会を終えることができました。

事務局としては、いろいろな反省点もあったと思いますが、有意義な検定会であったと思います。

次回の主管の際は、もっと良いパトロールが出来るよう自己研磨に努めたいと感じた検定会でした。



指導員検定の模様

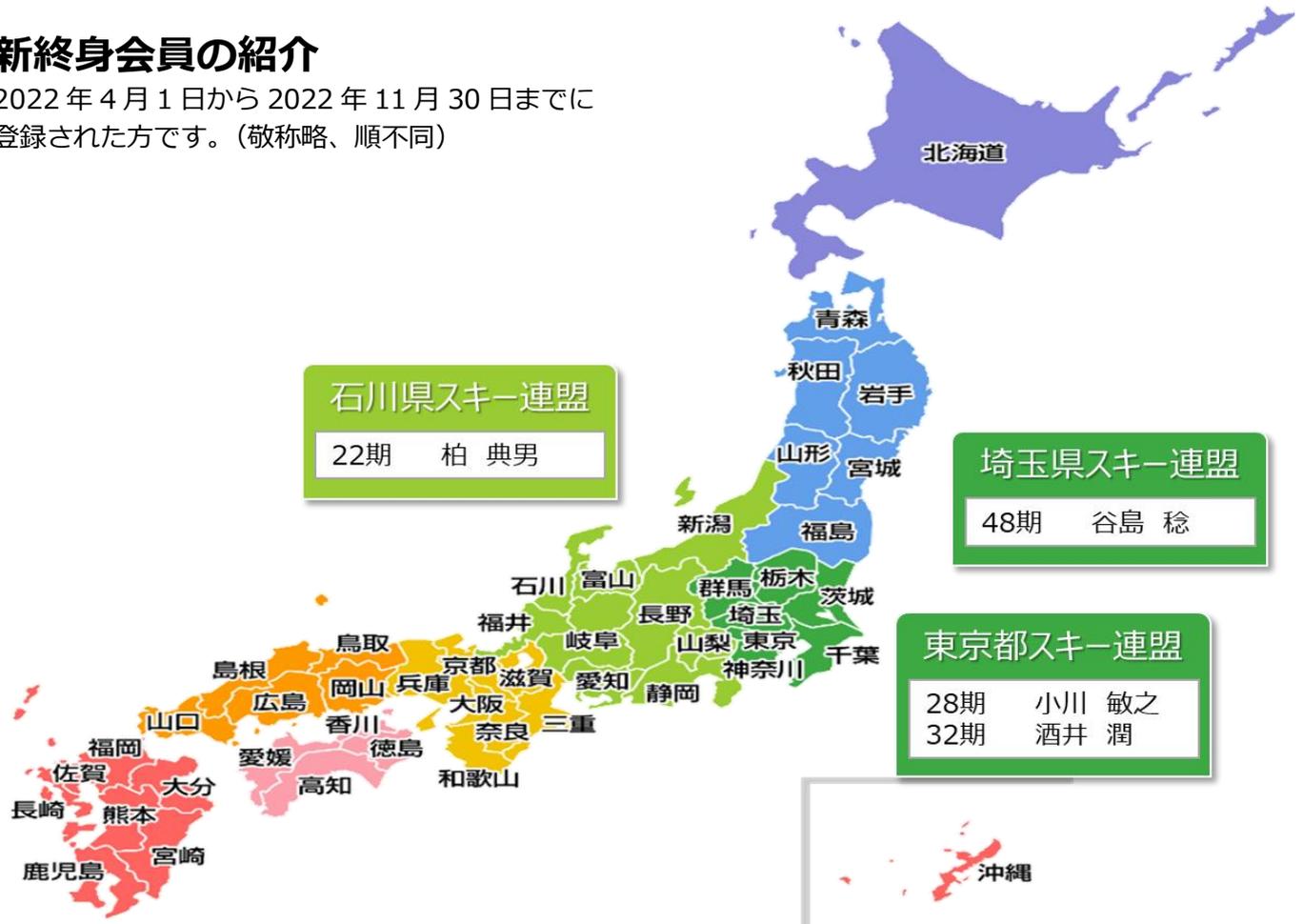


埼玉県スキー連盟教育本部役員の皆様

事務局より（新終身会員・寄付者名簿・ほか）

新終身会員の紹介

2022年4月1日から2022年11月30日までに登録された方です。（敬称略、順不同）



寄付者受領名簿

日付	県連・期	氏名
2022.4.28	宮城 19 期	照井 敏勝
2022.5.13	北海道 55 期	谷川 弘美
2022.6.1	埼玉 39 期	伊藤 清美
2022.8.9	秋田 10 期	杉原 博治

2022年4月1日から2022年11月30日までに寄付くださった方々です。

今後のJSPA活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。（敬称略）

訃報

坂本 保さん	（享年 86 歳）	北海道 28 期	2021 年 12 月 29 日 逝去
千葉 弘一さん	（享年 85 歳）	北海道 20 期	2022 年 4 月 13 日 逝去
後藤 昌弘さん	（享年 88 歳）	栃木県 8 期	2022 年 3 月 3 日 逝去（会友）
杉原 博治さん	（享年 80 歳）	秋田県 10 期	2022 年 8 月 9 日 逝去
古川 博さん	（享年 87 歳）	青森県 9 期	
外崎 俊行さん	（享年 64 歳）	青森県 26 期	
小林 紀夫さん	（享年 75 歳）	東京都 15 期	2022 年 8 月 逝去

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。